

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	日向子ども発達支援センター もくせい園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母子通園(家族通園)の強みを生かし、振り返りやご家族からの相談なども随時行っている。	利用開始から1ヶ月は母子通園を行い、単独になってからも、定期的な母子通園を実施している。保護者とは面談を必要に応じて随時行っている。	職員の専門性を更に高めていく事で、ご家族に対する的確な助言を行うと共に、頼れる職員集団を目指していく。
2	センターの機能して地域に向けた取り組みも行っているが、今後はさらに強化が必要である。		日向市や関係機関と連携をとりながら、地域に向けた取り組みをさらに強化していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	必要な各マニュアルは策定されているが、保護者への説明・周知が十分に行われていない。 自己評価の結果を法人のホームページにて公表しているが、保護者に周知できていなかった。	入園時に一部説明をさせてもらうが、すべてのマニュアルを説明するわけではない。 保護者向けのわかりやすいマニュアルの一覧がない。	保護者向けにわかりやすい各マニュアルの説明文を作成し、入園時とそれ以外に最低でも年に一回は説明の場を設ける。 自己評価の公表後は、保護者におたよりなどで周知する。
2	保護者向けの研修会や情報提供がない。 保護者間の交流の場があると良い。	勉強会等に関しては、感染症などの影響から数年実施していなかった。 保護者間の交流の面では、親子遠足と防災食作りを行っている、交流と言える場は十分に提供できていなかった。	今後は勉強会や情報の発信を計画的に行っていく。又、就学に向けての情報提供なども強化していきたい。 保護者参加の行事など交流の場を増やしていきたい。
3	建物や設備が十分とは言えない。 施設の老朽化が進んでいる。	トイレの数が少なかったり、構造があっていない箇所もある。 老朽化が進んでいる箇所もある。	工夫して対応できる部分はさらに工夫していく。法人や関係機関と相談をしながら、改修が必要な箇所は検討していく。